



第56回 全国(京都)大会開催される



第56回全国(京都)大会が10月20日(日)、京都府京都市島津アリーナ京都で開催された。全国から2,794名の参加があり、滋賀県断酒同友会は60名で参加しました。大会は全断連安永副理事長の開会の挨拶、物故者追悼、誓いのことばの後、歓迎の挨拶として京都府断酒連合会 栗山理事長の挨拶、主催者挨拶として、全断連伊藤理事長の挨拶と続いた。来賓紹介では厚生労働大臣、衆議院議員アルコール問題議員連盟中川正春会長代行の挨拶、京都府知事、京都市長の挨拶があった。体験発表は5人のブロック代表の方が午前の部、午後の部で発表された。昼食後のアトラクションは龍谷大学華舞龍の皆さんによる演舞「天翔る」と、祇園祭の祇園囃子を祇園祭洲浜会のみなさんが披露された。午後は京都府、京都市の「アルコール健康障害対策の取り組みについて」の現状と将来の展望について話があった。記念講演はNPO法人アスク代表今成知美氏による「アルコール依存症と家族＝信ずれば未来がやってくる」と題して、ご自身の父親のアルコール依存症の話、回復する病気であることを知ることなど、アルコール健康障害対策基本法の成立の経緯、SBIRTSの話など分かり易く話された。その後、次期開催地アピール、つづいて大会宣言が行われ、感動と断酒の勇気を貰った大会は閉会となった。来年の第57回全国大会は10月4日(日)愛知で行われます。

第29回 びわこ一泊研修会開催

滋賀県断酒同友会 第29回びわこ一泊研修会が9月21日(土)～22日(日)にかけて、滋賀県立希望が丘文化公園 青年の城で開催された。研修では家族中心の体験発表の時間帯が1日目の第1研修と、2日目の第4研修の両日にあり、家族が語られる体験談に反省と断酒の決意を新たにした。アメシスト、家族の各分科会も1日目の昼、夜の部で行った。2日間の充実した研修会に感謝する。他府県の行事が重なった反省はあるものの、参加者は遠方よりの参加者を含め93名の参加があった。次期研修会での同友会会員家族の一層の参加を期待します。

